

Fig.1 ドーム屋根鉄骨伏図

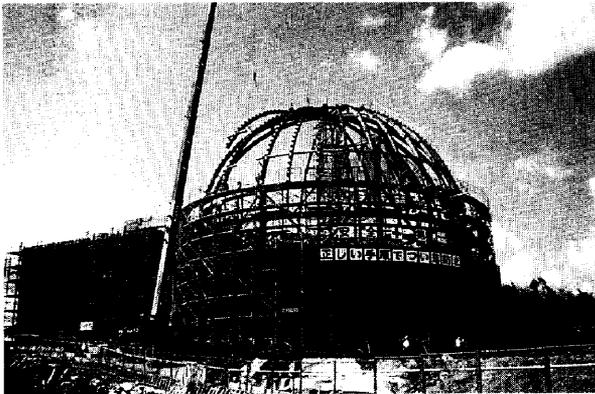


Photo 2 ドームの鉄骨建方

付モルタルは、足場等も大がかりなものが不要なためコストも安く、スピーディな施工ができた。

吹付モルタル完了後、チタン屋根下地となるパーライトモルタルを厚さ40mm平均に塗り、ほぼ目標通りの球形を確保することができた。

## 5. チタン屋根

下地モルタル完了後にアスファルトルーフィングを敷込み、縦墨、横墨の墨出しを行った。

縦墨は球体を16分割し、横墨は水平方向を6分割した。

チタンの葺板は割付寸法に合わせてあらかじめ工場加工を行った。その葺板を屋根面の縦墨、横墨に合わせ千鳥状に配置し、つり子を下地モルタルに釘止め、左右の葺板とははぜ折りしながら施工した。なお、つり子のピッチは、釘の引抜試験から350mm以下とした。

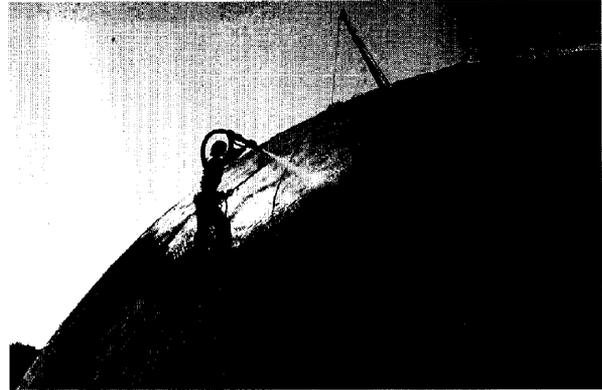


Photo 3 ドーム屋根モルタル吹付

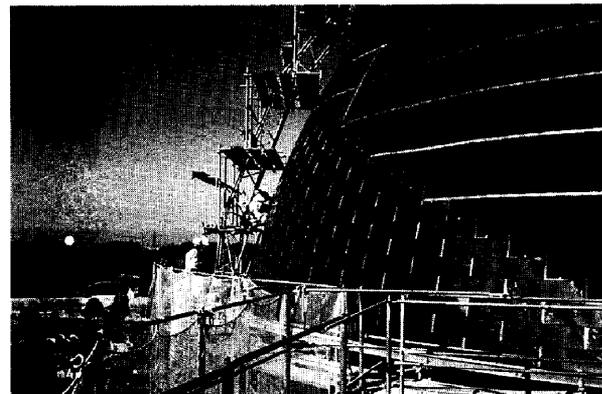


Photo 4 チタン一字葺

## 6. おわりに

ドーム屋根の施工を初めて経験したが、工事途中でプラネタリウムムのスクリーン工事が入ったため実質工期が圧迫され、苦しい状況の中での工事であったが、屋根のモルタル塗に吹付工法を採用したことによりどうにか予定の工期内に工事を完了することができた。

この報文が今後皆様の御参考になれば幸いです。